VOL.119

令和8年1月発行

プレカットニュース

一般社団法人 全国木造住宅機械プレカット協会
東京都千代田区一番町25番地　全国町村議員会館6階
TEL03 (6261) 9139　FAX03 (6261) 9133
https://www.precut-kyokai.com

新年のご挨拶

一般社団法人 全国木造住宅機械プレカット協会
会　長　　工藤　和夫

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、常日頃より、弊会の取組にご理解ご協力を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は、アメリカで新しい大統領が誕生し、関税政策をはじめとして新しい政策が出るたびに世界中がその対応に右往左往した年でした。色々な危機が叫ばれながらも、世界の景気は何とか持ちこたえている状況かと思われます。また、我が国の経済は円安に伴う輸入物価の上昇等から、消費者物価が高止まりし国民生活を直撃していますが、経済指数的には何とか持ちこたえている状況が続いています。

しかしながら、住宅関係では、4月に改正建築物省エネ法・建築基準法の全面施行がなされ、駆け込み需要後の反動で、住宅の新設着工が落ち込んだままで、未だに回復できていない状況となっています。建築確認検査で検査項目が増えたことや検査機関が慣れていないことも影響しているようですが、私どもプレカット業界では、年末に一時的な回復もありましたが、今後の見通しも含めて非常に厳しいと言わざるを得ません。

一方、新設住宅着工が落ち込む中で、木造非住宅に対する関心が高まりを見せています。協会としましても、木造非住宅において、一般流通材と住宅向けプレカットで対応できる中低層建築は、多くのプレカット工場が既往の生産体制やノウハウを活かしやすい分野ではないかと考えるところです。協会がこの２月に開催するプレカットＣＡＤ技術者研修におきましても、木造非住宅の事例紹介とポイント解説等を行ってプレカット工場の取組をサポートしたいと考えています。

また、令和８年１月１日から「製造委託等に係る中小受託事業者に対する代金の支払の遅延等の防止に関する法律」（取適法）と「受託中小企業振興法」が施行されます。林野庁が木材取引に関する調査を行ったところ、林業・木材産業における価格交渉・価格転嫁の実施状況は未だ十分とは言い難い状況にあることや、価格転嫁を阻害する商慣習が一部に存在することが明らかになったとのことです。協会事務局におきましても会員からの聞き取りを行ったところ、「原材料費（木材代）や物流費（トラック運賃）」と「坪単価の加工賃」が一括りになって「坪単価」として取り扱われ、原材料費や物流費のコストアップが価格に反映できずに困っていること等を聞きました。聴取した事例は林野庁に報告し、昨年１１月に策定された「林業・木材産業における適正取引推進ガイドライン」に盛り込んでいただきました。このガイドラインでは、問題となりうる事例、関連法規の留意点、望ましい取引の在り方等について整理がなされたところですが、これらの案件は、個々の取引の中の話であり、長年の商慣習となっていることが多いことから、プレカット工場側から顧客である住宅メーカー等の方々に、その改善を粘り強くうったえていくことが必要と考えます。弊会では、このような取組にも努力して、関係各位のご理解を得ていくことも、プレカット工場の収支改善の観点から重要と考えるところです。

最後に、本年が皆様方にとってすばらしい一年となりますようご祈念申し上げますとともに、併せて弊会に対する一層のご理解ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和６年会員プレカット工場基礎調査の集計結果（第4回報告）

令和６年１２月末現在で実施した「令和６年度会員プレカット工場基礎調査」の集計結果の第４回報告では、会員工場における「職員数と有資格者数」,「事業の形態」,「製品の配送」について報告します。

なお、集計結果の一部はＰ４にも掲載しました。（調査回答者数：３８社）

【職員数と有資格者数】

１　職員数（１工場当たりの平均在職者数）

（単位：人）

事務所		工場		CAD部門	
正規	臨時	正規	臨時	正規	臨時
11.0	1.0	37.6	7.5	14.5	0.4

２　大工等の雇用

	雇用する工場数	平均在職者数（人）
大工等の雇用の有無	22	3.3

※59％の工場で大工等を雇用

【事業の形態】

１　製品の主な納品先

	大手住宅メーカー	地域ビルダー/工務店	大工/小規模工務店	流通/問屋/建材会社	木材加工業者	その他	計
割合(%)	26	41	11	18	4	0	100

２　製品価格の形態（資材費込みか加工費のみ（賃引き）か）

	資材費込み	加工費のみ（賃引き）
割合(%)	81	19

※全て資材費込み：12工場
※全て加工費のみ（賃引き）：3工場

３　グループ会社の事業内容(どのような事業を行う会社とグループを形成しているか)

	プレカット	製材業	木材市場	建材販売	住宅建築	その他
工場数	37	11	2	17	13	16
割合(%)		30%	5%	46%	35%	43%

※プレカット専業が４工場
○プレカットの位置づけが５割以上：２０工場
○　　〃　　８割以上：１２工場

４　一括納品等への対応状況（プレカット部材の納品時に合わせて納品（対応）するもの）

	金具等	その他建材	住宅機器	建て前	その他
工場数	32	22	8	16	1
割合(%)	91%	63%	23%	46%	3%

５　加工した製品の配送

	自社が配送	社外に外注	顧客が引き取り
工場数	12	34	16
割合(%)	35%	100%	47%

	自社負担	顧客負担	自社・顧客の両方あり
工場数	6	32	4
割合(%)	18%	94%	12%

※令和６年度調査の報告は今回で終了です。7年度調査にもご協力をよろしくお願いします。

プレカット業況調査（令和7年11月期）

（一社）全国木造住宅機械プレカット協会会員調査（回答率：52％）

設　　問	回答比率（%）			DI	前回DI
	（1）	（2）	（3）		
1－1　今月の受注額は3ヵ月前と比べて如何ですか。 （1）好転（5%以上の伸び）（2）変わらず（±5%未満）（3）悪化（5%以上の減）	37	52	11	+26	−12
1－2　3ヵ月後の受注額をどう予測しますか。 （1）好転（5%以上の伸び）（2）変わらず（±5%未満）（3）悪化（5%以上の減）	11	33	56	−45	+13
2－1　貴社の坪当たりの構造材の平均加工単価はいくらですか。	全体平均：5,400円 （前回：5,300円）				
3－1　今月の製品加工単価は3ヵ月前と比べて如何ですか。 （1）好転（5%以上の伸び）（2）変わらず（±5%未満）（3）悪化（5%以上の減）	7	85	7	±0	−4
3－2　3ヵ月後の製品加工単価をどう予想しますか。 （1）好転（5%以上の伸び）（2）変わらず（±5%未満）（3）悪化（5%以上の減）	0	93	7	−7	±0
4－1　今月の資材(製品)入手状況は如何ですか。 （1）容易（2）変わらず（3）困難	26	74	0	+26	+38
4－2　3ヵ月後の資材(製品)入手状況をどう予測しますか。 （1）容易（2）変わらず（3）困難	26	74	0	+26	+22
5－1　今月の収益は3ヵ月前と比べて如何ですか。 （1）好転（5%以上の伸び）（2）変わらず（±5%未満）（3）悪化（5%以上の減）	15	65	19	−4	−20
5－2　3ヵ月後の収益をどう予測しますか。 （1）好転（5%以上の伸び）（2）変わらず（±5%未満）（3）悪化（5%以上の減）	4	44	52	−48	±0

＊ＤＩ＝(1)の％－(3)の％、＋の数値が大きいほど好調、－の数値が大きいほど不調。
＊前回調査：令和7年8月

【調査結果の分析】

今月の受注額は好調でしたが、収益は不調でした。3か月後は受注額も、収益も大きく悪化する予測となりました。

1　今月の受注額は＋２６の好調となりました。３ヶ月後は－４５で大きく悪化する予測となりました。

2　今月の構造材の加工単価（全体平均）は５,４００円で前回比で＋100円となりましたが、DIでは±0となっています。３か月後の製品加工単価は－７に悪化する予測となりました。

3　今月の資材入手状況は＋２６の容易、３カ月後も＋２６と継続の予測となりました。

4　今月の収益は－４の不調となりましたが、３ヶ月後は－４８と大きく悪化する予測となりました。

～ 事務局だんらん（その10）～

【話題】令和６年12月末現在のプレカット工場の現状について、A会員の皆様のご協力を得て実施した「令和６年度プレカット工場基礎調査」の結果を４回に分けてプレカットニュースで報告してまいりましたが、今回は最終回、事務局なりの考察を付して書かせていただきました。

【職員数と有資格者】

有資格者等（有資格者を配置する工場数とその平均在職者数）

	建築士が所属			建築事務所の登録		CAD技術者の認定登録		
	１級	２級	木造	建築士が居る工場	事務所登録の工場	１級	２級	３級
配置工場数	21	33	2			8	24	10
１工場当たりの数(人)	1.4	3.9	1.0	35工場	18工場 (51%)	1.4	4.9	4.5

(1)　調査したプレカット工場の９割以上で建築士の資格を有する職員が居られることが分かりました。顧客から徴収する伏図等は不十分なものが多いことから、適正な製品を出荷するためには、建築の知識が非常に重要となっています。また、一歩進んで建築事務所登録をされている工場は51%にとどまっています。建築事務所登録があれば、顧客に対する設計支援等を有料で行うことができ、工場の売上向上にも資するものと考えます。しかしながら、一方ではこれらの設計支援の内製化には、相応のリスクも伴います。先日お伺いした工場では、設計支援を有料で行っているものの、その価格は建築士が受託した価格よりも安く設定しているとのことでした。求められる書類や図面を建築士に渡して、建築士が最終的な確認を行って記名捺印をして、設計図書等の一部となることで、最終的な責任は建築士が負う形になっているとのことでした。リスクを減らしつつ、一定の売上を確保するアイディアとして参考になるのではないでしょうか。

【事業の形態】

６ 顧客から徴収する設計情報

	平面図	立面図	伏図	基礎図	矩計図
徴収する工場数	36	36	32	3	4
うち内容が不十分なもの	1	1	20	0	2
不十分なものの割合	3%	3%	63%	0%	50%

＊その他に徴収するもの
・金物図　・壁量図
・仕様書　・壁量計算書
・N値計算書（各1工場）

７ 顧客に対する設計支援等（何かしらの設計支援を行っている工場が２７工場）

	プレカット加工図（伏図に利用可能）		設計図書		確認申請書類一式		瑕疵保険関係	
	工場数	割合	工場数	割合	工場数	割合	工場数	割合
当該支援等を行っている	27	100%	9	33%	7	26%	4	15%
うち有料で行っている	4	15%	7	78%	6	86%	2	50%
うち無料で行っている	23	85%	2	22%	1	14%	2	50%

＊この他に、・「壁量・N値の計算書」を無料で、
・「構造計算」、「許容応力度計算」を有償で行っているところが各１工場あった。

(2)　顧客から徴収する設計情報うち、伏図や矩計図に不十分なものが多いようです。また、約７割の工場で何らかの設計支援等が行われているようですが、プレカット加工図の有償化や、設計図書や確認申請書等への有償対応についても、今後の経営戦略の参考となるのではないでしょうか。